

◆ 葛飾都税事務所長賞 ◆

「税の使途を知る大切」

葛飾区立東金町中学校 3年 千田 楓

私の家では、私が幼い時から車を所有している。私の家は五人家族なので、買い物や病院に行く時などに便利だからだ。ある時、母が「自動車税の支払い期限がそろそろだわ。」と言っているのを耳にし、私は車を所有することによって税金がかかっているということを知った。このように、生活する上で私の知らない税金が色々なものにかかっている。前述した車を所有することによってかかる税金について調べたところ、いろいろな種類があり、年に一度支払う自動車税や、二年に一度支払う自動車重量税、車を動かすのに欠かせないガソリンにもガソリン税・石油税・消費税がかかっているようだ。車を所有することだけでもこんなに多くの税金がかかっていることに私は驚いた。また、便利と引き換えにして、こんなにも多くの税金を支払わなければいけないことに、私は疑問を抱いた。そのことを母に話したところ、「集めた税金が自分たちにとって有意義に使われていたら、支払うことに疑問を持たなくなるんじゃない。」と言われたので、支払った税金が自分たちにとって、どのように有効に使われているのか調べてみた。

まず、自動車税は地方自治体の税収になり自動車重量税は国税となって、どちらも一般財源として道路整備費や地域の教育や医療といった公共のサービス、公務員の給与などさまざまな用途に使われていることがわかった。私は中学生なので、特に教育についてどのように税金が使われているのか気になった。例えば、私が通う中学校では、最近校舎内改修工事が行われており、その費用は葛飾区の税収から賄われていることがわかった。また、小学校の時に利用させてもらっていた、学校施設を活用した放課後子供支援事業「わくわくチャレンジ広場」の運営にも葛飾区の税収が使われている。このように、とても身近なところで税金が利用されていることがわかり私たちにとって有益な使途方法を国や地方自治体が考えて、税金のやりくりをしてくれているのだなあと感じた。

私のように、支払う税金が何に使用されているのかを知らずに「いろいろな税金を支払う義務があって嫌だ」と感じている人は、まず地方自治体や国の予算がどのように組まれているのかを調べてほしい。税金の使途が自分に有益な使用方法であることを知れば、税金を支払うことに疑問を持たず、気持ちよく支払うことができるようになると思う。また、当然のように受けている公共のサービスも無料ではなく、誰かの税金で成り立っていることを自覚して過ごすことが大事だと思う。